

令和 5 年 9 月 12 日

熊本県熊本市南区流通団地一丁目 46 番地
株式会社ビューティ花壇
代表取締役社長 舛田正一

熊本県熊本市南区流通団地一丁目 46 番地
株式会社 One Flower
代表取締役社長 片山大心

吸収分割に係る事前開示書面

(吸収分割会社：第 782 条第 1 項及び会社法施行規則第 183 条)

(吸収分割承継会社：会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 192 条)

株式会社ビューティ花壇（以下「分割会社」といいます。）及び株式会社 One Flower（以下「承継会社」といいます。）は、それぞれ取締役会の決議を経て、両社間で令和 5 年 8 月 14 日付け吸収分割契約を締結し、令和 6 年 1 月 1 日を効力発生日（予定）として、分割会社の西日本エリアにおける生花祭壇事業を承継会社に承継する吸収分割（以下「本件分割」といいます。）を行うことといたしました。よって、ここに本件分割にかかる事項を事前開示いたします。

1 吸収分割契約の内容

別紙 1 の吸収分割契約書のとおりです。

2 分割対価の相当性に関する事項

分割会社と承継会社は完全親子会社の関係にあることから、本件分割に際し、分割会社に対する承継会社の株式、金銭等の交付は行いません。

3 新株予約権の定め相当性に関する事項

該当する事実はありません。

4 吸収分割会社の計算書類等に関する事項

(1) 最終事業年度に係る計算書類等

分割会社は、有価証券報告書及び四半期報告書を九州財務局に提出しております。最終事業年度に係る計算書類等については、「金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（EDINET）」又は分割会社の下記ウェブサイトか

ら御覧いただけます。

<http://www.beauty-kadan.co.jp/ir/oldyuh.html>

- (2) 最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他会社財産の状況に重要な影響を与える事象の有無及びその内容
該当する事実はありません。

5 吸収分割承継会社の計算書類等に関する事項

- (1) 最終事業年度に係る計算書類等
別紙2のとおりです。
- (2) 最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他会社財産の状況に重要な影響を与える事象の有無及びその内容
該当する事実はありません。

6 効力発生日以降の債務の履行の見込みに関する事項

- (1) 分割会社の債務の履行の見込みについて
本件分割後における分割会社の資産の額は、負債の額を十分に上回ることが見込まれること、また、本件分割後の分割会社の収益状況及びキャッシュ・フローの状況について、分割会社の債務の履行に支障を及ぼすような事態は予測されていないことから、本件分割後における分割会社の債務の履行の見込みはあると判断しております。
- (2) 承継会社の債務（分割会社が承継会社に対し本件分割により承継させる債務を含む。）の履行の見込みについて
本件分割後における承継会社の資産の額は、負債の額を十分に上回ることが見込まれること、また、本件分割後の承継会社の収益状況及びキャッシュ・フローの状況について、承継会社の債務の履行に支障を及ぼすような事態は予測されていないことから、本件分割後における承継会社の債務の履行の見込みはあると判断しております。

以上

別紙2

「承継会社の計算書類等」

株式会社One Flower

事業報告（2022年6月1日から2023年5月31日まで）

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当事業年度よりコロナ感染症拡大の影響からの回復が見られ、生花祭壇事業・ブライダル事業共に売上を伸ばしております。

一方、生花の調達価格は石油価格の高騰に伴う生産・流通コスト増の影響で、当事業年度の原価率は前事業年度の29.7%から1.5%増加し31.2%となりました。

この様な状況の中、関西・九州エリアにおける既存顧客の受注増、同エリアでの新規取引拡大、リテール部門の売上拡大に取り組んでまいりました。この結果、売上高は前事業年度の640,526千円から113,003千円の大幅な増加をみせ、753,529千円となりました。当期純利益は、前事業年度の39,368千円から10,779千円増の50,147千円となりました。

(2) 資金調達の状況

該当事項はありません。

(3) 設備投資等の状況

該当事項はありません。

(4) 財産及び損益の状況の推移

区分		第14期 (2020年5月期)	第15期 (2021年5月期)	第16期 (2022年5月期)	第17期 当事業年度 (2023年5月期)
売上高	(千円)	640,664	537,534	640,526	753,529
経常利益	(千円)	△42,589	10,937	40,374	50,936
当期純利益	(千円)	△47,195	8,283	39,368	50,147
総資産	(千円)	319,275	357,301	363,669	367,294
純資産	(千円)	△15,318	△7,034	32,333	82,481

(5) 重要な親会社の状況（2023年5月31日現在）

会社名	事業内容	資本金	出資比率
株式会社ビューティ花壇	生花祭壇事業	213,240千円	100.0%

(6) 対処すべき課題

ブライダル市場においては少子化、未婚化の波が押し寄せ、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届けのみの結婚の増加、及び小規模婚やリゾート婚などの多様化により、ブライダル業界の市場規模は縮小傾向が続くものと判断しております。

この様な環境下において、既存顧客、既存エリアへの深掘り営業による受注獲得のため営業強化に取り組んでまいります。また、当事業年度に10,000千円の受注実績がある披露宴会場の改装提案に取り組みます。

フェューネラル市場においては、当社は熊本で展開しておりますが、互助会、JAの会館新設の加速に伴い当社の主要顧客である専門業者も疲弊してくると思われまます。

そのような環境下において、売上を維持向上させるためには、商品開発による単価UPを含む収益構造

の改革が重要課題であると考えております。

その課題クリアのための基礎となる、機動的な組織の構築と主体性を持った人材の育成と採用強化が全社的な課題であると考えております。

(7) 主要な事業内容

事業区分	主な事業内容	構成比 (%)
フューネラル事業	生花祭壇の企画提案・制作・設営	51.4
ブライダル事業	提携結婚式場への生花装飾の制作・設営	31.6
生花小売事業	一般の個人・法人への生花等の販売	15.2
造園事業	造園緑化等の設計・施行・管理の請負	1.8

(8) 主要な営業所 (2023年5月31日現在)

本社/熊本ワークスタジオ	熊本県熊本市南区流通団地1-46
宝塚ワークスタジオ	兵庫県宝塚市鹿塩1-10-12
福岡ワークスタジオ	福岡県福岡市東区松田2-9-1
クラウンガーデネックスサクラマチ店	熊本県熊本市中央区桜町3-10

(9) 従業員の状況 (2023年5月31日現在)

従業員数	前事業年度末比増減
48 (28) 名	+4 (+1)

(注) 従業員数は就業員数であり、パート及び嘱託社員は()内に年間の平均人員(8時間換算)を外数で記載していません。

(10) 主要な借入先の状況 (2023年5月31日現在)

借入先	借入額
株式会社日本政策金融公庫	100,000千円
株式会社熊本銀行	70,000千円
株式会社商工組合中央金庫	8,849千円

2. 会社役員に関する事項

取締役及び監査役の氏名等

会社における地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役会長	田口 絹子	株式会社ビューティ花壇取締役
代表取締役社長	片山 大心	株式会社花時監査役
取締役	西村 保彦	
監査役	染矢 浩	

3. 会社の状況に関する重要な事項

該当事項はありません。

貸借対照表
(2023年5月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
流動資産	334,337	流動負債	179,057
固定資産	32,956	固定負債	105,755
有形固定資産	15,288	負債合計	284,813
無形固定資産	245	株主資本	82,481
投資その他の資産	17,422	資本金	62,500
		資本剰余金	42,500
		資本準備金	42,500
		利益剰余金	△22,518
		その他利益剰余金	△22,518
		(うち当期純利益)	(50,147)
		純資産合計	82,481
資産合計	367,294	負債及び純資産合計	367,294

損益計算書

(自 2022年6月1日 致 2023年5月31日)

(単位：千円)

科目	金額	金額
売上高		753,529
売上原価		246,844
売上総利益		506,684
販売費及び一般管理費		454,341
営業利益		52,342
営業外収益		
受取利息	1	
雑収入	1,641	1,643
営業外費用		
支払利息	1,021	
社債利息	9	
借入手数料	5	
雑損失	2,013	3,049
経常利益		50,936
特別利益		
有価証券売却益	20	20
税引前当期純利益		50,956
法人税、住民税及び事業税		808
当期純利益		50,147

株主資本等変動計算書
(自 2022年6月1日 致 2023年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	62,500	42,500	42,500	△72,666	△72,666	32,333	32,333
当期変動額							
当期純利益				50,147	50,147	50,147	50,147
当期変動額合計	-	-	-	50,147	50,147	50,147	50,147
当期末残高	62,500	42,500	42,500	△22,518	△22,518	82,481	82,481

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ① 原材料、貯蔵品 最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）
- ② 仕掛品 個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産（リース資産を除く）
定率法によっております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。
- ② 無形固定資産（リース資産を除く）
定額法によっております。なお、ソフトウェア（自社利用）については、社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
- ③ リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(4) 引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- ② 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

(5) 重要な収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

当社の生花祭壇事業においては、顧客に商品を引き渡すことで履行義務が充足されることから、引渡時点で収益認識を行っております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数
普通株式

1,050株

監査報告書

2022年6月1日から2023年5月31日までの第17期事業年度の取締役の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

監査役は、取締役、使用人、及び親会社の監査役等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社および主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令および定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2023年8月14日

株式会社 One Flower

監査役 染矢 浩 ㊟

以上